

# 産業立地論 II

科目ナンバー 8D309  
専門 地域経済系 選択  
2単位

丹羽 孝仁

## 1. 授業の概要(ねらい)

サービス経済の深化に伴い、現実の経済活動は多種多様なものとなっています。本講義では、多国籍企業のグローバルR&Dや文化芸術産業といった非物質的な産業立地を取り上げることで、多様な地域経済の実像に迫ります。この授業ではDP1に関連する知識と技法を習得します。

## 2. 授業の到達目標

- ① 産業立地の理論を説明できる。
- ② 産業立地の特徴を理解する。
- ③ 地域経済に関わる産業立地の諸現象をイメージできる。
- ④ 様々な地域や産業、企業の知識を身につける。

## 3. 成績評価の方法および基準

期末試験と期末レポートの両方を課します。

試験(40%)、期末レポート(30%)、授業への参加態度(30%)で評価します。

試験は採点基準を示すとともに、採点結果をLMS上でフィードバックします。

## 4. 教科書・参考文献

教科書

松原宏編著 『知識と文化の経済地理学』2017年、978-4772252959 古今書院

参考文献

松原宏編 『産業集積地域の構造変化と立地政策』2018年、978-4130461221 東京大学出版会

松原宏・鎌倉夏来 『工場の経済地理学』2016年、978-4562092062 原書房

## 5. 準備学修の内容

【予習】

講義はテキストの章と対応させて進めます。準備学習として、該当の章を通読してください(1時間程度)。

【復習】

講義後に資料をLMSにアップします。テキストと資料を基に復習し、各自でまとめノートを作成してください(2時間程度)。

試験には各自が作成したまとめノートの持ち込みを許可します。

## 6. その他履修上の注意事項

LMSを使用します。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:知識と文化の経済地理学
- 【第2回】 グローバル知識結合と研究開発の地理的集積(1章)
- 【第3回】 日系電機企業による研究開発の海外展開(2章)
- 【第4回】 パリ大都市圏における研究開発集積の変容(3章)
- 【第5回】 日本の造船業集積の維持メカニズム(5章)
- 【第6回】 鉄道車両工業の技術蓄積とサプライヤーシステム(7章)
- 【第7回】 米菓産業集積における技術継承と技術革新(8章)
- 【第8回】 東京における広告産業集積の多極化(9章)
- 【第9回】 パブリックアートの拡散と地域の受容(10章)
- 【第10回】 映画ロケ地の選定とフィルムコミッション(12章)
- 【第11回】 企業文化と近代化産業遺産の保存・活用(14章)
- 【第12回】 市町村合併と修景まちづくり事業の継承(15章)
- 【第13回】 オタク商業空間と中心市街地の活性化(16章)
- 【第14回】 まとめ
- 【第15回】 試験、解説